

指定管理者制度導入施設 モニタリングチェックシート

(平成27年度 半期(4月~9月) の管理運営状況)
年間(4月~3月)

施設名	秋川溪谷瀬音の湯	指定管理者	新四季創造株式会社
指定期間	平成27年4月1日から 平成32年3月31日まで	担当課	観光まちづくり活動課秋川溪谷観光係

1 業務の遂行状況及び収支の状況

項目	分類	年間計画 (A)	実績 (B) (モニタリング時)	対計画比率 (B/A×100)	
業務の 遂行状況	開館日数 (日)	360	360	100.0%	
	延べ利用者数 (人)	485,140	482,711	99.5%	
収支状況	収入	指定管理料 (円)	—	—	
		利用料金収入 (円)	376,400,000	370,990,104	98.6%
		自主事業収入 (円)	—	—	—
		その他の収入 (円) (受託収益、雑収入)	16,354,000	16,424,899	100.4%
	収入計 (円)		392,754,000	387,415,003	98.6%
	支出	人件費 (円)	152,120,000	151,454,364	99.6%
		維持管理経費 (円)	128,600,000	117,274,051	91.2%
		自主事業関係経費 (円)	—	—	—
		その他の支出 (円)	108,034,000	104,950,531	97.1%
	支出計 (円)		388,754,000	373,678,946	96.1%
収支 (収入-支出) (円)		4,000,000	13,736,057		

指定管理者の自己評価 (改善点、その他特記事項)

【開館日数・利用者数について】 開館日数：360日 ※休館日：6日 利用者数：482,711人 (前期比100.2%)	【事業の実施状況について】 開業以来、入浴料金及び宿泊料金の見直しを10月に実施し、経営体質の強化とサービスの向上に努めた。下半期、近隣に大型温泉施設が新設され苦戦したが、温泉入浴者数は260,964人となり、開業以来最高となった。	【収支状況について】 下半期の料金改定による収益向上もあり、総売上高は384,908千円(前期比101.8%)、営業利益は水光熱費等の経費減少により、11,251千円(前期5,100千円の営業損失)で推移した。
--	--	---

所管課の評価 (指摘事項)

利用者は昨年に引き続き、開業以来最高値を達成しており、誘客努力が認められ、評価できる。	他の事業者との連携により、地域活性化へ貢献している点は評価できる。今後は、新設した競合施設への対応が課題となる。	10月の料金改定実施により、経営の改善が図られた。前年に比べ、経費削減に努めるなど安定的な経営状態となっている。
---	--	--

2 チェック項目

評価項目・評価事項 (数値目標)	確認資料等	指定管理者の 自己評価	所管課の評価
受付等の業務	施設の利用許可等を条例に従い適切に行っている	日報	適正・要改善
	使用料、利用料金の徴収、減免を適切に行っている	日報、申請書	適正・要改善
施設・設備の 維持管理	消防設備、機械設備の保守点検や施設の修繕等を適切に行っている	各種点検結果報告書	適正・要改善
	衛生環境を維持するため清掃業務等を適切に行っている	日報、実地	適正・要改善
	備品等を適切に保管・管理している	備品台帳	適正・要改善

施設・設備の維持管理	業務の全部又は主たる業務を第三者に請け負わせていない	実地	適正・要改善	適正・要改善
安全性への配慮	安全管理、衛生管理、危機管理に関するマニュアルが整備され、また、職員等に対する指導訓練が適切であり、市への通報体制が整っている	危機管理マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	避難経路の確保、事故防止策や防犯等の警備業務など利用者への安全対策が講じられている	実地	適正・要改善	適正・要改善
	損害保険等の必要な保険に加入している	保険証書	適正・要改善	適正・要改善
透明性・公平性	ホームページ等により施設の情報の公開に努めている	ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
	情報公開に対する体制を整備している	情報公開マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	利用者の平等な利用が確保されている	日報	適正・要改善	適正・要改善
効果的・効率的な運営	苦情や利用者アンケートによる意見、要望等を管理運営に反映している	利用者アンケート	適正・要改善	適正・要改善
	施設の利用者拡大の取組を行っている	日報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	経費削減のための取組を行っている	日報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	広報紙、チラシ、ホームページなどにより積極的に事業等を周知している	広報紙、チラシ、ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
人員配置・人材育成等	事業計画書どおりの人員を配置している	84人 人員配置計画	繁忙期 85人 適正・要改善	適正・要改善
	事業計画書どおりの職員の指導育成や研修を行っている	3回/年 研修マニュアル	実施回数 5回 適正・要改善	適正・要改善
	障がい者や高齢者の雇用促進に努めている	30% 人員配置計画	39.8% 適正・要改善	適正・要改善
	労働法令の遵守や労働条件への適切な配慮がなされている	就業規則	適正・要改善	適正・要改善
個人情報の保護	個人情報を保護するための取組を行っている	個人情報保護マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	文書管理を適切に行っている	保存文書	適正・要改善	適正・要改善
環境への配慮	省エネルギーの取組、環境負荷低減、ゴミの減量など、環境への配慮に取り組んでいる	日報	適正・要改善	適正・要改善

※評価基準

「適正」：その項目について、協定書、事業計画書等に沿った適正な指定管理業務を行っている。

「要改善」：その項目について、協定書、事業計画書等に照らし合わせて、目標達成されておらず、改善の余地がある。

3 上記1、2の評価に関する所見

指定管理者による所見（改善点、その他特記事項）	<p>下半期は料金の改正も実施したことから、今まで以上に良質なサービスの提供に努めるとともに、市及び地域と連携し、積極的に誘客・増収を図りつつ、地域活性化の取組みに主眼をおいてきました。その中で、上半期は当期の収支について好調に推移したが、下半期は大型温浴施設が近隣に2か所新設されたことから、多少の影響が発生しているものと思われる。今後、より一層、集客強化・売上増進の自助努力に傾注し、健全な経営にまい進いたしたい。なお、近隣農産物生産者で構成されている直売組合については、東京都農業会議会長賞を授与され、長年の努力による結果が実を結んだ。</p>
市による所見（指摘事項など）	<p>平成27年10月の料金改定により、収支バランスが改善し、安定経営が図られている。今後も良質なサービスの提供に努めるとともに新設された競合施設への対応が課題となる。地域と連携したプロモーション活動の実施や、利用者へのサービス向上に努めていくことが求められる。</p>